

平成29年度第1回大町市ケーブルテレビ放送番組審議会議事録（要旨）

開催日時	平成30年3月29日 午前10時
開催場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者	
審議会委員	伊藤彰一 降旗和幸 川上 洋 北澤米子 平林 操
事務局	降旗孝浩 藤巻孝之

報告事項

（委員からの意見等）

- 生中継で、離れている場所からは無線で飛ばすのか。
- 加入者が減ってきている。街中の加入が増えるようPRの努力をしてほしい。費用をかけても加入の努力はしていかないといけない。
- 加入時の費用は変わらないか。
- 加入の費用を安くしても、毎月の利用料が入るので、加入をしてもらうことが大事である。ケーブルテレビ導入当初は無料で加入できたので、無料に近い形でも加入してもらうよう予算をつけて取り組めばどうか。また、PRは親にチラシ配布だけでなく、運動会や卒業式など子供たちの様子をDVDの作成をして配ってPRするなど工夫してはどうか。
- 加入のために最初の投資は必要である。3か月無料とか、設備だけは配線しておくなど。いつでもつなげられるようにしておくことも必要ではないか。
- 人が集まるところでPRしてもらうことが大事。加入してしまえば、解約はなかなか難しくなると思うので、加入PRに努めてもらえと思う。
- 人口増のために必要な理由ということで、移住した人との公平な考え方から既存の方への加入時の費用負担の軽減を考えてもらいたい。
- 加入時負担しても利用料は何か月無料にするとか、工夫して増やしていかないと人口減により減っていくだけである。運動会などでDVDを配って見てもらって今ならキャンペーンありますとか、何かやらないと増えないと思う。
- 新築の情報を基にDMを送るなどPRを行っていけば、増えるのでは。
- 多チャンネル視聴数の数字は何か

（事務局から）

- 生中継をする場所は生中継の設備が整っており、祭などの際に臨時配線を行って対応している。接続箇所から情報センターに光ケーブルで映像を送っている。
- 大町地区の加入の数は足りないと認識している。加入促進としては、保育園や小学校などへより勧誘に力を入れたい。定住の助成対象の方以外で加入に対する助成について検討している。3500世帯を目標に増やす努力をしていきたい。
- 加入の際の費用は一昨年と変わっていない。
- 条例の減免規定で加入時の費用軽減が適用できないか検討したが、公益、被災、生活困窮など限定した理由が中心であるため、難しい。定住の助成制度を既存の方にも広げていかないと考えている。
- 多チャンネル視聴数はCSチャンネルを有料で加入している方の数である。

審議事項

（委員からの意見等）

- 団塊の世代が多くなっている。シニア世代、老人クラブが一番活動している。小さい地域での活動があり、行事などの情報がわかれば、その取材をしてもらうことで、テレビをよく見ている世代は、テレビに出たということが加入につながるいい方法だと思う。

○最近、「きらりステーション」のカメラのアングルなどが良くなってきた。下から映した映像などがあり、見やすくなった。前は上から撮っていたものが多かった。週1回更新が少しでも回数が増え、新しい情報が流れるなど、見てもらう人が増えるようなニュースにしてもらえればよい。

○番組をいつも楽しみにしている。良いものにしてもらえればと思う。

○編集作業が大変だと思う。コンテンツを売ったりできればよいのかと思うが、そういうことはできるのか。番組の交流があればCATVどうして番組の内容も充実するのでは。

○学校の卒業式があるけどケーブルテレビに入っていれば見られるのにと感じている。加入の助成があれば積極的にPRしたいと思う。

○加入の補助と利用料の補助とどちらが安くなればとの意見が多いか

○加入の階段を低くすれば入りやすくなるので、考えてほしい。

○財布をにぎっているのは女性が多いので、少しでも安くできれば加入すると思う。

(事務局から)

○「きらりステーション」は今まで週1回の更新で同じものが流れているとのご指摘もある。少しずつ新しい取り組みを検討している。新しい情報を放送できるよう努めたい。

○白馬、小谷に「きらりステーション」を配信している。NHKへも番組を無料で放送してもらっている。

○利用料と加入時の負担について、加入時の負担が軽減されればとの意見が多い。

放送番組の視聴と感想

(委員からの意見等)

○「市政のお知らせ」で観光課の担当者の紹介があれば番組を見た方の印象も良いのかと思うがどうか。

○アナウンサーが病気など事故のあったときは、どうしているか。聞きやすい声である。癖がなく爽やかに聞こえる。

○休んだ時の代わりにできる人はいるか

○インフルエンザなどで出演できない場合はどうするか。代わりについて考えてもらった方がいい。もし事故があったら代わりをお願いするなどの対応ができるように。

○CMにナレーションで職員が出ておりの滑舌がよかった。他にもできる人がいると思うので、検討してはどうか。

○「きらりステーション」がどんどん良くなっている。桜の情報などこんなところがあったのかと知ることができて、いろんな人に見てもらうようにすることが必要だと思う。

(事務局から)

○観光課の職員は、以前から月1回に観光情報で出演しているため、特に紹介していない。

○アナウンサーの代わりはいない。今まで休んでしまうことはなかった。